

経済的価値創造・配分フロー

当社の2016年度の経済的価値創造・配分フローを報告します。事業活動を行うことにより、社会に対してどのような価値を創造し、ステークホルダーの皆さまにその価値をどのように配分したのかを示します。

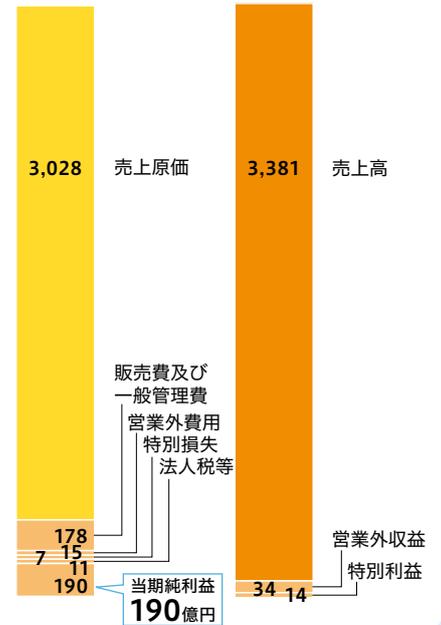


前田建設は、「経済価値」「環境価値」「社会価値」(トリプルボトムライン)を、『経済的価値創造・配分フロー』に基づく金額換算価値を活用することで、比較可能性を高めています。当社の中長期戦略であるCSV経営の促進にあたり、トリプルボトムラインを広く社会に開示するとともに、経営の意思決定に有効な指標として位置づけ、企業収益の拡大と継続的成長を実現し、企業価値を高める「共有価値の創造」を実現していきます。なお、トリプルボトムラインの換算金額の概要は以下のとおりです。

- 経済価値:** 前田建設個別の当期純利益
- 環境価値:** 環境保全コスト、地球への配当、Maeda SII投資の合計金額
- 社会価値:** 前田建設が社会に創出した付加価値のうち、環境価値を除いた合計金額

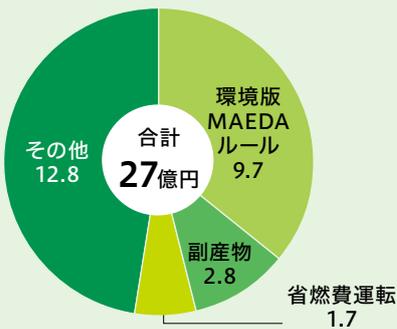
経済価値 190億円 前田建設が創出

財務諸表 P/L(損益計算書)



環境価値 27億円 建設現場の環境活動によって創出された価値

環境価値の内訳



環境版MAEDAルール

各工種および事務所における、省CO₂活動および省資源活動(ハイブリッド重機の採用・破砕機などによる副産物の減容化・発生土の再利用など)による業績面削減値とCO₂に代表される環境負荷低減効果金額換算値の合計値。

その他

各環境取り組み・グリーン調達(環境負荷の少ない調達)による資材の削減値とCO₂削減金額換算値の合計値。

省燃費運転

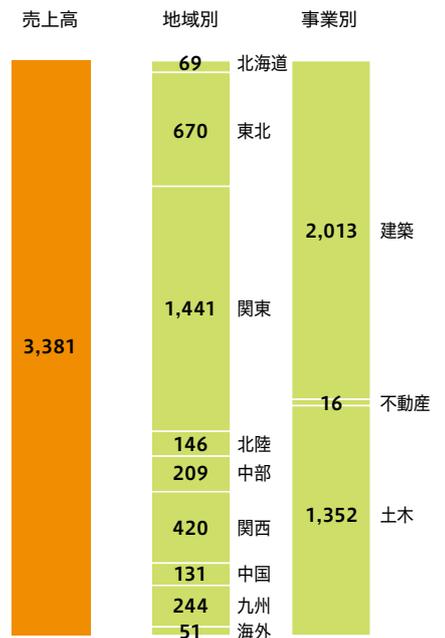
重機作業における、省燃費運転活動による価値。活動により削減された軽油の削減費とCO₂削減の金額換算値の合計値。

副産物

産業廃棄物の分別による価値。リサイクル法で定められた品目と汚泥、廃石膏ボード以外の品目を混廃として処理した場合と比較した処理費の差額。

社会価値 493億円 前田建設が社会

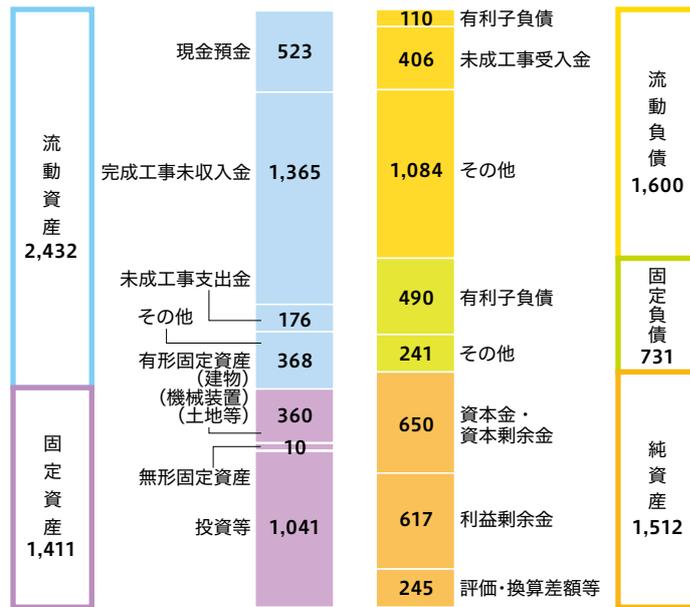
社会に創出された価値



した利益

(単位:億円)

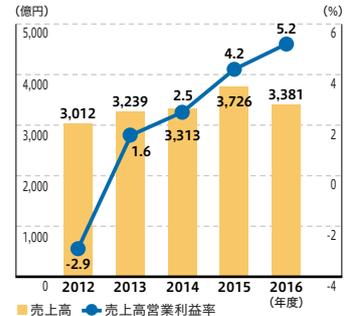
B/S(貸借対照表)



主要指標経年変化

売上高営業利益率

[営業利益/売上高(完工高)]



総資産純利益率

[当期純利益/期中平均総資本]



に創出した付加価値

付加価値の配分

(単位:億円)

施設別	金額
事務所・庁舎	362
商業・宿舍等	194
工場・倉庫等	543
住宅	433
教育・医療等	397
建築その他	100
治山・治水	113
上下水道	90
道路	491
鉄道	92
港湾・空港	62
土木その他	504



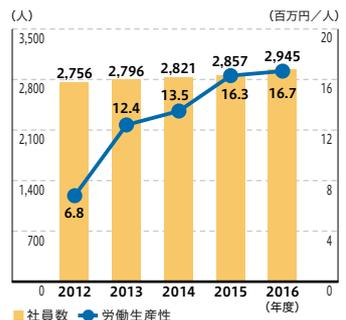
売上高付加価値率

[付加価値/売上高(完工高)]



労働生産性

[付加価値/社員数]



注: 前田建設単体の2016年度の活動に関する値

マテリアルフロー

当社の2016年度のマテリアルフローを報告します。経済的価値創造・配分フロー(→P.21、22)で報告した価値を社会に提供するために、以下のような資源を投入しました。その上で、発生する環境負荷を低減すべく、目標値を設定して活動を行っています(→P.25、26)。なお、スコープ3は環境省「環境情報開示基盤整備に向けたサプライチェーン温室効果ガス排出量算定支援」の考え方に基づいて算出しています。詳細は、データブックのP.12を参照ください。

投入資源

エネルギー

施工*1 作業所数:217 延べ労働人員:3,136千人

電力量	36,170 千kWh	LPG	52 t	都市ガス	19,374 m ³
(グリーン電力)	1,354 千kWh)	軽油	20,254 kl	ガソリン	691 kl
A重油	0 kl	灯油	264 kl	上水使用量	286,185 m ³

オフィス*2 拠点:36カ所 延べ労働人員:413千人

電力量	3,995 千kWh	上水使用量	21,716 m ³	軽油	39 kl
(グリーン電力)	20 千kWh)			灯油	15 kl
				都市ガス	92,891 m ³

スコープ3

エネルギー関連活動	4,636 t-CO ₂
雇用者の通勤	1,409 t-CO ₂

INPUT

資機材

施工

コンクリート	699 千m ³	鋼材	135 千t	セメント	32 千t
--------	---------------------	----	--------	------	-------

★グリーン調達量 ●材料系 12品目 ●外装材・内装材系 7品目 ●設備系 11品目
※内訳は下記「グリーン調達量一覧」参照

オフィス

用紙購入量	13,361 千枚
-------	-----------

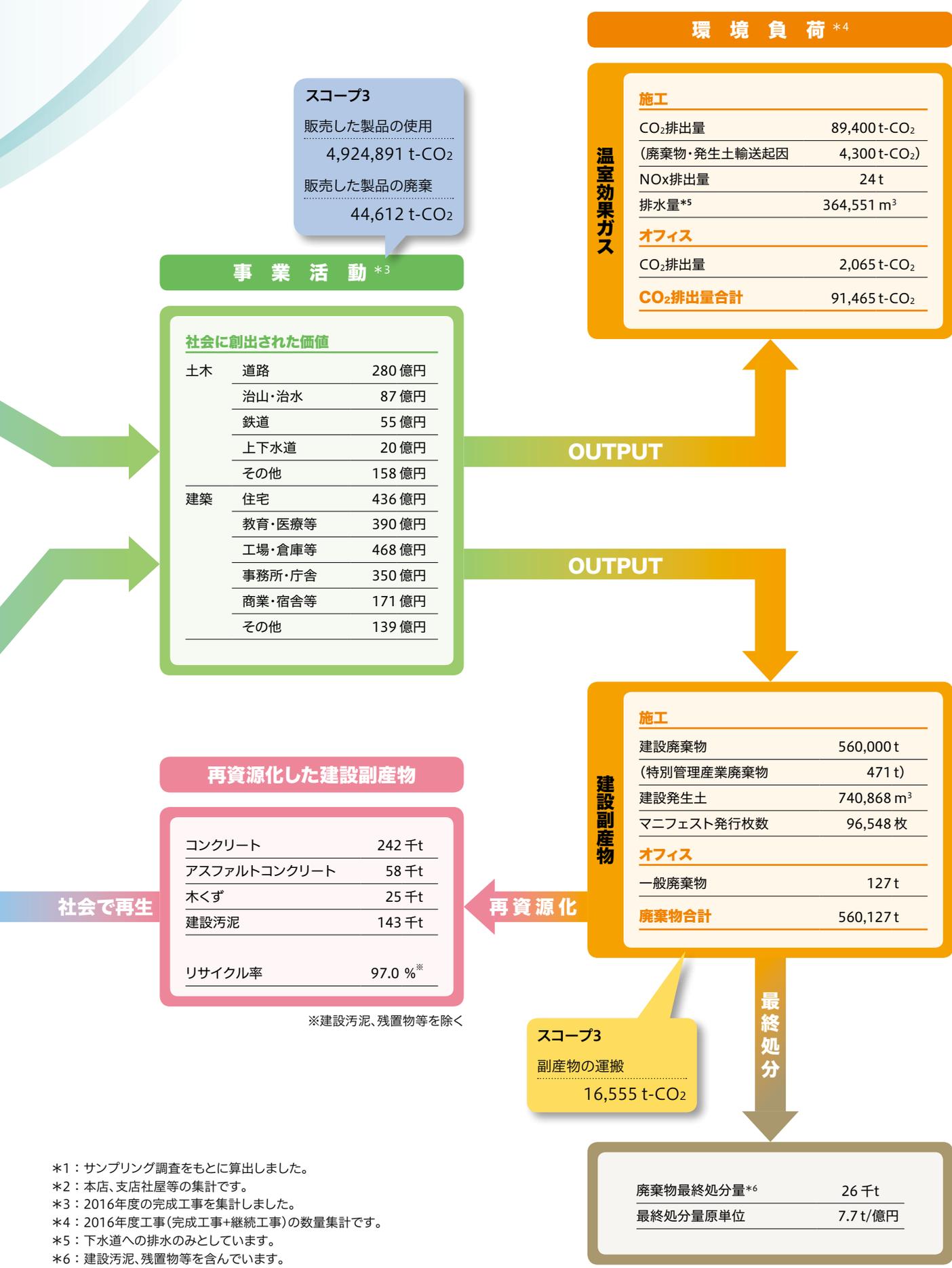
スコープ3

購入した製品・サービス	685,979 t-CO ₂
輸送、配送(上流)	5,195 t-CO ₂

INPUT

グリーン調達量一覧

高炉コンクリート	167,301 m ³	Low-Eガラス	36,915 m ²	自動制御ブラインド	98 カ所
フライアッシュコンクリート	78,551 m ³	複層ガラス	27,609 m ²	地中熱利用システム(ヒートポンプ)	10 kW
再生コンクリート	0 m ³	屋上緑化	5,840 m ²	太陽光発電	8,823 kW
電炉H鋼、鋼矢板	14,267 t	壁面緑化	1,544 m ²	太陽熱利用	6 m ²
高炉スラグ細骨材	3,132 t	再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)	372,581 m ²	風力発電	4,000 kW
電炉鉄筋	71,652 t	間伐材(国産材)	1,648 m ³	燃料電池	1 kW
建設発生土の再利用	164,737 m ³	ノンフロン断熱材	546,156 m ²	LED照明	42,775 台
建設汚泥から再生した処理土	16,304 m ³			EM電線	514,959 m
再生骨材等	105,040 t			節水便器	1,599 組
再生加熱アスファルト混合物	6,926 t			吸収冷温水機	0 基
代替型枠	19,590 m ²			ガスヒートポンプ	348 台
PC材	32,274 m ³				



*1：サンプリング調査をもとに算出しました。
 *2：本店、支店社屋等の集計です。
 *3：2016年度の完成工事を集計しました。
 *4：2016年度工事(完成工事+継続工事)の数量集計です。
 *5：下水道への排水のみとしています。
 *6：建設汚泥、残置物等を含んでいます。

CSR活動実績 (KPI)

当社の2016年度のCSRに関する活動実績を報告します。取り組み項目を「CSRの4本柱」に分類し、それらで取り組んだ内容とKPIを示しています。またMAEDAの「CSRの4本柱」とISO26000との関係性も記しています。

MAEDAの「CSRの4本柱」	ISO26000 7つの中核主題	主な取り組み内容	取り組みに関するKPI	KPIの達成度評価
法令等遵守 (コンプライアンス)	組織統治 公正な事業慣行 人権 労働慣行	理念等の浸透・定着	経営規範に関する教育の受講	新入社員受講者率
		BCPへの取り組み	BCP訓練における安否確認メールへの返信	返信率
		情報安全	情報安全キャラバンへの参加	参加者数
		CSR・コンプライアンス	CSR戦略会議の実施	実施回数
			CSR・コンプライアンスレター発行	発行回数
		人権・人事・労務	人権問題に関する教育	参加率
			障がい者雇用	雇用率
			定年者再雇用	再雇用率
			育児休業(女性)	取得者数
			育児休業(男性)休職を伴う	取得者数
			育児休業(男性)休職を伴わない	取得者数
			有給休暇取得	取得率
ボランティア休暇取得	取得者数			
優れた建造物・建設サービスの提供	消費者課題 公正な事業慣行 環境	現場における安全への取り組み	安全成績	度数率 強度率
		環境技術の売上への寄与、普及・展開	選定環境技術の工事受注・売上への貢献	件数(土木) 件数(建築)
		CSR・グリーン調達推進	施工段階におけるグリーン調達品(指定11品目)の調達	調達率
			オフィスにおける文具類グリーン調達品の調達	調達率
		環境保全への取り組み	環境 消費者課題	環境教育の充実
eco検定の取得	取得率			
環境に関するしくみの充実	環境保全を目的とした資金拠出			「地球への配当」拠出額
	グリーンR&Dの採用			採用件数
地球温暖化防止に向けた取り組み	建物運用段階におけるCO ₂ 排出量削減			推定削減率
	施工段階におけるCO ₂ 排出			排出原単位
	オフィスにおける電力使用量によるCO ₂ 排出			排出量
				排出原単位
循環型社会構築に向けた取り組み	施工段階における廃棄物排出			排出量
	施工段階におけるリサイクル(汚泥等除く)			リサイクル率
	施工段階における混合廃棄物排出(建築の新築工事に限る)			延べ床面積当たりの原単位(住宅)
				延べ床面積当たりの原単位(非住宅)
	電子マニフェストの利用			利用率
	オフィスにおける一般廃棄物排出			排出量
排出原単位(1日1人当たり)				
オフィスにおける水使用	排出量			
	使用原単位(1日1人当たり)			
生物多様性の取り組み	施工段階における取り組み	取り組み件数		
	生物多様性をテーマにした技術開発	開発件数		
企業市民としての社会・地域貢献活動	コミュニティ 参画および開発 環境	地域とのコミュニケーション	社会・地域貢献活動の取り組み	取り組み件数
		企業ボランティアの実施	企業ボランティアの実施	実施回数
		エコアクションの拡大	参加率	
利用ポイント数				

※◎:100%達成 ○:95%以上達成 △:90%以上達成 ×:未達成

2015年度		2016年度			2017年度	
実績		実績	達成度*	目標	目標	
	100%	100%	◎	100%	100%	
	—	—	—	—	—	
	1,540人	—	—	—	—	
	6回	5回	—	—	—	
	2回	0回	—	—	—	
	100%	100%	◎	100%	100%	
	2.06%	1.99%	—	—	—	
	84.8%	88.4%	—	—	—	
	16人	18人	—	—	—	
	1人	1人	—	—	—	
	9人	34人	—	—	—	
	22.6%	56.7%	—	—	—	
	188人	173人	—	—	—	
	0.59	0.75	—	—	—	
	0.75	0.02	—	—	—	
	7件	4件	◎	3件以上	3件以上	
	13件	16件	◎	2件以上	2件以上	
	59%	56%	◎	55%以上	55%以上	
	77%	70%	×	80%以上	83%以上	
	7回	7回	◎	7回/年以上	9回/年以上	
	83%	86%	◎	85%以上	90%以上	
	114,954(千円)	200,022(千円)	—	—	—	
	新規0件	新規0件	—	—	—	
	28%	15%	—	—	—	
	33.9(t-CO ₂ /億円)	26.5(t-CO ₂ /億円)	◎	30.3(t-CO ₂ /億円)以下	23.3(t-CO ₂ /億円)以下	
	2,059(t-CO ₂)	2,065(t-CO ₂)	○	2,020(t-CO ₂)以下	1,980(t-CO ₂)以下	
	5.14(kg-CO ₂ /人・日)	4.99(kg-CO ₂ /人・日)	◎	5.05(kg-CO ₂ /人・日)以下	4.95(kg-CO ₂ /人・日)以下	
	586(千t)	560(千t)	—	—	—	
	97.0%	97.0%	○	98.0%以上	98.0%以上	
	14.1(kg/m ²)	11.2(kg/m ²)	×	8.5(kg/m ²)以下	7.5(kg/m ²)以下	
	9.0(kg/m ²)	6.8(kg/m ²)	◎	7.1(kg/m ²)以下	6.3(kg/m ²)以下	
	81%	85%	◎	85%以上	90%以上	
	118(t)	127(t)	×	110(t)以下	105(t)以下	
	320(g/人・日)	331(g/人・日)	△	310(g/人・日)以下	305(g/人・日)以下	
	55(L/人・日)	56(L/人・日)	×	50(L/人・日)以下	45(L/人・日)以下	
	13件	10件	×	20件/年以上	(計画中)	
	6件	1件	×	5件/年以上	(計画中)	
	616件	670件	—	—	—	
	6回	4回	—	—	—	
	19%	34%	—	※参加者人数に変更予定	※参加者人数に変更予定	
	355,390(P/年)	395,760(P/年)	×	800,000(P/年)以上	1,200,000(P/年)以上	